

話題 ピックアップ

まちのニュース



黄色い羽根を配布して交通安全を呼び掛けました(安代小)

黄色い羽根の街頭配布などで交通事故を防止

8日朝には、市内の小学校周辺など13カ所の街頭で、市交通安全協会など関係者が黄色い羽根を配布。登校中の児童生徒や通勤者などに「おはようございます」とあいさつしながら、自転車の乗り方など交通マナーを守るよう、広く呼び掛けを行いました。

4 / 8

いさつしながら、自転車の乗り方など交通マナーを守るよう、広く呼び掛けを行いました。

8日朝には、市内の小学校周辺など13カ所の街頭で、市交通安全協会など関係者が黄色い羽根を配布。登校中の児童生徒や通勤者などに「おはようございます」とあいさつしながら、自転車の乗り方など交通マナーを守るよう、広く呼び掛けを行いました。

8日朝には、市内の小学校周辺など13カ所の街頭で、市交通安全協会など関係者が黄色い羽根を配布。登校中の児童生徒や通勤者などに「おはようございます」とあいさつしながら、自転車の乗り方など交通マナーを守るよう、広く呼び掛けを行いました。



それぞれの少年団へ認定証を授与

4 / 18

夢に向かって全力投球 スポーツ少年団結団式

八幡平市スポーツ少年団結団式は4月18日、市総合運動公園体育館で行われ、団員約300人が今季の活躍を誓いました。

松尾バレー・ボールス・スポーツ少年団の下館香佳主将(柏台小6年)の先導で、健康な体と心を養い、目標に向けて努力することなどを誓う

日本スポーツ少年団綱領を斉唱。各少年団へ認定証を授与しました。団員を代表して、西根第一中学校スポーツ少年団の遠藤碧子主将(同校3年)が「感謝の気持ちを忘れず、全力を尽くします」と決意を述べました。



開通を祝い、関係者による除雪などを行いました



八幡平アスピーテライン・雪の回廊
(4月17日、山頂レストハウス周辺)



八幡平アスピーテライン開通式
(4月17日、山頂レストハウス周辺)

岩手・秋田の全線同時アスピーテライン開通

八幡平に春の訪れを告げる八幡平アスピーテライン(10・6キロ)は4月17日に開通しました。本年度から、長年の課題だった秋田県側との同時開通が実現。ゲート前には開通を待ちわびる観光客が内外から多数詰め掛けました。

ゲート前で行われた開通式には、チャーター便で台湾から訪れた観光客も参加。テンプカットで開通を祝い、雪の回廊など自然が織り成す絶景を楽しみました。

山頂レストハウス周辺では、初の同時開通を祝うセレモニーも行われました。



黄色い羽根街頭配布
(4月8日、上町交差点)



事業計画などを決定した設立総会

市内の産直が連携してさらなる魅力の発信へ

連携を深めて一層の誘客を図ようと、市内の産直施設を運営する10組織は4月6日、八幡平市産直連携協議会を設立しました。

友好都市交流促進センターで開かれた設立総会には、10組織の代表者など20人が出席。松尾八幡平物産館産直組合の佐々木春男組合長を会長に選出し、産直施設の共同事業や特産品の商品開発などをを行うことを決定しました。

本年度の事業として、7月にさくら公園で合同イベントを開催するほか、スタンプラリーなどの実施を計画しています。



大勢の観光客でにぎわいを見せた不動の滝

5月3日には、桜松公園で不動の滝まつりを開催。日本の滝百選に選ばれている不動の滝に県内外から大勢の観光客が訪れました。会場には、商工会などによる出店が軒をつらね、歌謡ショーなどの催しで観光客を楽しませました。

雪まつりは4月25日から5月6日までの12日間、市内各会場で開かれました。5月の大型連休に市内で行われているさまざまなイベントが連携することで、一層の誘客につなげようを行っているもので今年で7回目となります。

さくらと残雪まつりで市の魅力を内外へ発信

岩手県と秋田県にまたがる八幡平(1613m)の山開きは4月25日、八幡平見返り峠の駐車場で行われました。当日はあいにくの天気ながら、山岳関係者や観光関係者など約100人が式典に出席。一年間の登山者の安全と観光客の増加を祈願しました。

式典で田村正彦市長は、「アスピーテラインの同時開通が実現したことでの価値が一層高まりました。アジアなど海外にも広く八幡平の魅力を発信するとともに、国内にもこの地域のすばらし

い観光資源をPRしていく」とあいさつし、八幡平地域の発展を願いました。



山開き交流登山で両県の友好を深めました

八幡平地域のさらなる発展を願い山開き開催

すなっぷギャラリー

八幡平山開き・テープカット
(4月25日、山頂レストハウス周辺)八幡平山開き・交流登山
(4月25日、八幡平)

早期退院の願いを認め 西根病院でお花見会を

楽しめました。
お花見気分を味
わつてもらおうと、
この日は昼食も花見
弁当風のものを用意。
赤飯など普段とは
一味違う病院食に、
患者は舌鼓を打ちま
した。



参加者みんなで「花」を大合唱

4
/ 23



みんなで防犯意識を高めます

4 / 20

西根病院のお花見会は4月23日、同病院談話室で行われました。嶋院長が「歌や踊りなどを楽しんで、心を癒してください」といふとあいさつし、お花見会の始まりです。サクラの花などで飾り付けられた会場で、「花」や「春が

のです。鉛筆は5本組で、初回は「ついてイカない」の鉛筆を配布。同協会による登校時のあいさつ運動の中で、残りの鉛筆を配布します。

北岩手地区少年警察
察ボランティア協会は4月20日、田頭小学校の児童へ防犯を呼び掛ける鉛筆を贈りました。

みんなで意識を高めて 犯罪から自分を守ろう



意欲を高める研修生(左から宍戸さん、稻垣さん、安田さん)

職人を目指して
修行の日々に
身を投じます

4
/ 6

市安代漆工技術研究センターの入所式は4月6日、安代総合支所で行われ、研修生が安比塗の技法を学ぼうと意欲を高めました。

本年度入所の研修生は、稻垣元洋さん（神奈川県厚木市出身）、宍戸大祐さん（一関市出身）、安田温美さん（栃木県宇都宮市出身）の3人です。

小林順一副市長は、「伝統産業が見直されつつあります将来に生かせるよう技術を学び、修了作品を見せてもらうのを楽しみにしています」とあいさつしました。

3月まで長野県の技術専門校で木工を学んだ宍戸さんは、漆器作りの技法の中でも、「塗り重ねた漆を彫る、彫漆に取り組みたい」と意欲を燃やします。



地域安全運動啓発活動
(4月7日、マックスバリュ西根店)



交通事故死ゼロを目指す日啓発活動
(4月10日、市役所本庁前)

すなつぶギャラリー



田村市長に現地での様子を報告する工藤さん(写真右)

青年海外協力隊として途上国の教育向上に活躍

4 / 14

独立行政法人国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員として、ボリビア共和国コチャバンバ県ミスケ市へ派遣されていた工藤敦子さん（大更出身）は4月14日、田村正彦市長へ帰国報告のため市役所を訪れました。

工藤さんは、19年3月29日から21年3月28日まで、ボリビア共和国で活動しました。

JICAの青少年支援の一環として、教育の質向上プロジェクトに尽力。さまざまな教育活動に取り組みました。現地での体験談などを交えながら報告した工藤さんは、結びに「現地での経験を生かし、今後の教育活動などに取り組みたいと思います」と決意を述べました。

開発途上国からの要請により、技術や経験を活かしたボランティアとして活動する青年海外協力隊は毎年多くの隊員を派遣しています。

た。 渡辺東六団長は、「市民の生命財産を守るために、消防団が一体となって活動してもらいたい」と訓示して、団員たちを激励しました。 団員たちは、地域の安全を自分たちの手で守ろうと、思いを新たにしていました。

地域の安心安全を守る消防団員に辞令を交付

4 / 23



渡辺団長の前で新入団員を代表して宣誓



活発な議論が交わされた検討委員会



庁舎建設検討委員会・報告書提出
(4月8日、市役所大会議室)

分団長、副分団長などへの昇任者51人に加えて、新入団員11人に辞令を交付。新入団員を代表して阿部浩之さんが宣誓を行いました。

庁舎建設の基本計画に意見を付け報告書提出

4 / 23

八幡平市庁舎建設検討委員会（委員長・古沢真作前県立大学事務長）は4月8日、市が示した庁舎建設基本計画案に対する報告書を取りまとめ、田村正彦市長へ提出しました。

報告書には、維持管理経費抑制のため、省エネルギーに配慮することや地盤調査の実施、駅を併設する場合には観光モニターの設置など来訪者に配慮するなどの提言が付記されました。

今後は、パブリックコメントで寄せられた意見を参考に基本計画の成案を取りまとめ、住民説明会を開催予定です。



交通安全啓発活動
(4月14日、安代小学校付近)



西根病院お花見会
(4月23日、西根病院談話室)